

平成 17 年度当初予算 施策別概要

324 食の安全とくらしの衛生の確保

(主担当部局 健康福祉部)

- 32401 食の安全・安心の確保 (健康福祉部)
- 32402 生活衛生営業の衛生水準の確保 (健康福祉部)
- 32403 医薬品等の安全確保 (健康福祉部)
- 32404 薬物乱用防止対策の充実 (健康福祉部)
- 32405 人と動物の共生環境づくりの推進 (健康福祉部)
- 32406 食の安全とくらしの衛生を確保する研究の推進 (総合企画局)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 安全安心な食生活や衛生的な生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

目標項目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
食品の検査件数に対する不適合食品の割合 (%)	目標値	1 1	6 . 5	6 . 0	5 . 5
	実績値	7 . 6	6 . 5	-	-

「食品衛生法」に規定されている食品の製造販売のための規格基準および県の食品の指導基準不適合率

< 平成 17 年度に残っている課題 >

食品の偽装表示などにより、消費者の食の安全に対する不安や不信感が高いため、食品の製造、流通及び販売の各段階における表示等の監視指導の強化と消費者・事業者等への情報提供とリスクコミュニケーションが重要となっています。

残留農薬検査の強化、食品添加物の適正使用、食品の適正表示及び輸入食品や健康食品に対する安全確保など安全・安心対策の強化が求められています。

平成 17 年 4 月 1 日に新薬事法が施行され、製造から市販後安全対策までを一貫して管理する製造販売制度の導入及び品目ごとの GMP (製造管理及び品質管理に関する基準) 適合性調査など安全対策の一層の充実が求められ、県として査察の質及び量的向上が求められています。

また、医薬分業の進展にともない、薬局における調剤業務が増加しているため、調剤過誤防止対策及び県民に対する医薬情報の提供体制の充実が必要となっています。

現在、第三次覚せい剤乱用期にあり青少年の薬物汚染が拡大し、また、海外旅行の進展を受けて大麻汚染も拡大しています。薬物乱用を防止するために、麻薬等の不正流通の防止、薬物乱用を予防する啓発活動、乱用者の社会復帰支援を引き続き実施することが求められています。

動物愛護の精神や意義、動物の適正飼養・終生飼養について県民に理解や関心を深めてもらい、人と動物とが健康で安全な共生環境づくりをする必要があります。

< 平成 17 年度の施策の取組方向 >

「食の安全・安心確保基本方針」に沿って「食品衛生監視指導計画」を策定し、食品の製造、流通及び販売の各段階における危害分析に基づくランク分けによる監視指導と食品製造関係事業者の自主衛生管理の促進を図り、食の安全確保に努めるとともに、消費者・事業者とのリスクコミュニケーションを図っていきます。

生産から消費に至る食品の流過程における食品取扱いの衛生管理のための拭き取り検査、及び食品中の残留有害物質及び汚染物質検査を実施し食品の安全を確保します。また、検査の信頼性確保のために精度管理調査及び研修等を実施します。

「医薬品等の安全確保」として、医薬品及び毒物劇物等製造施設の監視指導、薬局等の監視指導及び自主管理の指導、三重県薬事情報センター等を利用した医薬品の正しい知識の普及啓発、医薬品及び家庭用品の収去検査を行います。

「薬物乱用防止対策の充実」として、引き続き、医療用麻薬等の不正流通を防止するための監視指導等、不正大麻・けしの抜去、民間団体等との協働による青少年等への啓発活動、薬物の再乱用を防止するための相談業務を行います。

動物の適正飼育や動物愛護思想の普及啓発、犬の正しい飼い方教室などを行います。

< 主な事業 >

(重) 食の安全食品衛生監視指導事業【基本事業名：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 46,842千円 47,631千円

事業概要：自主衛生管理の推進（HACCP手法の普及及び導入促進）、危害分析によるランク分けによる食品関係施設の監視指導事業及び消費者等とのリスクコミュニケーションを実施します。

(重) 食の安全食品検査事業【基本事業名：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 90,383千円 73,907千円

事業概要：食品の収去検査（残留農薬検査、残留医薬品検査、環境汚染物質検査、アレルギー検査、遺伝子組み換え食品検査、食品添加物検査）を実施するとともに、検査の信頼性を確保するため外部及び内部精度管理調査及び機器の校正・点検を実施します。

薬事審査指導事業【基本事業名：32403 医薬品等の安全確保】

当初予算額： 6,797千円 7,685千円

事業概要：医薬品等の製造から市販後安全対策に至るまでの品質、有効性及び安全性を確保するため製造業者や販売業者の許可及び査察等を行います。また、薬局に対して調剤業務安全対策を向上させるために指導を行います。

薬物「ダメ。ゼッタイ。」みえ県民運動推進事業【基本事業名：32404 薬物乱用防止対策の充実】

当初予算額： 4,896千円 4,894千円

事業概要：最近の薬物乱用情勢に対処するため、民間団体及び関係機関との連携を密にしながら、特に青少年を対象に総合的啓発活動を推進し、薬物乱用防止意識の高揚を図ります。

動物保護管理推進事業【基本事業名：32405 人と動物の共生環境づくりの推進】

当初予算額： 3,087千円 3,102千円

事業概要：小中学生を対象にした動物愛護の絵・ポスター募集などの動物愛護啓発事業や特定動物飼養者や取扱業者、一般の飼い主に対しての講習会を開催します。また、特定動物や放し飼い犬からの危害防止、動物の適正飼養のための監視指導を行います。